

県内景況情報

9月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

7～9月の主原料のイースト仕入高は、前年に比べ10%以上の低下となっている。売上高は大幅に減少することが予想される。猛暑の影響が大きいと見込んでいる。

〈木材・木製品〉

〔木材・木製品製造業（家具を除く）〕

受注量・生産高は若干増加してきている。季節的要因はある。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

受注好調企業が数社、大部分は、収支トントンの企業とに分かれたままの状況は変わらないがやや陰りが出てきた。今後も価格の値上げ後の原料のスクラップが高騰しているため、利益率が落ちている。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年同月比96.6%となっている。前々年同月比95.4%であった。

〈製造業〉

〔電気機械器具製造業〕

9月度売上高は、先月より増加した。前年同月比では不変である。産業用ロボット関連は、依然国内外とも好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

〈その他の製造業〉

〔その他の製造業〕

台風や地震の影響が多少あったが大きな変化はみられない。

● 非製造業

〈小売業〉

〔建築材料小売業〕 何とか昨年と同水準を保っている。

〈卸売業〉

〔電気機器卸業〕 9月は猛暑のおかげで空調機の売上が伸びた。

〈商店街〉

〔福岡市〕 退店・閉店の店舗もあるが、また新規出店希望もあり、幸い継続的な空き店舗は発生していない状況である。実態はまいちだが、祭り続きで、気分的にも景気は良くなっており、相変わらず外国人旅行客など人出も多く活気はある。

〔北九州市〕 暑さがやわらぎ、少し集客は増えたがいまだに空き店舗が減らない。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕 当月の売上は前年同月と比べると約20%の減少、且つ、前々年同月と比べると約5%のダウンとなった。

〔洗濯物取次業〕 気候の変動が原因ではないかと思われる売り上げの低下がある。

〈建設業〉

〔電気工事業〕 福岡都心部のマンション竣工が前月比137%。市内郊外東部の住宅建設（マンション・戸建て）は124%、西部が98%。当組合関係地区全体では、前月比117%である。

〔職別工事業〕 見積工事物件数が増加傾向である。手持ち工事量も堅調に推移し、繁忙状況である。

〈運送業〉

〔道路貨物運送業〕 9月も各組合員平均で売上は増加しているが、収益はこのところの燃料高騰していることが影響し前年比マイナスとなっている。この傾向は今後も継続すると思われる。

福岡県の業種別D・I値の変化

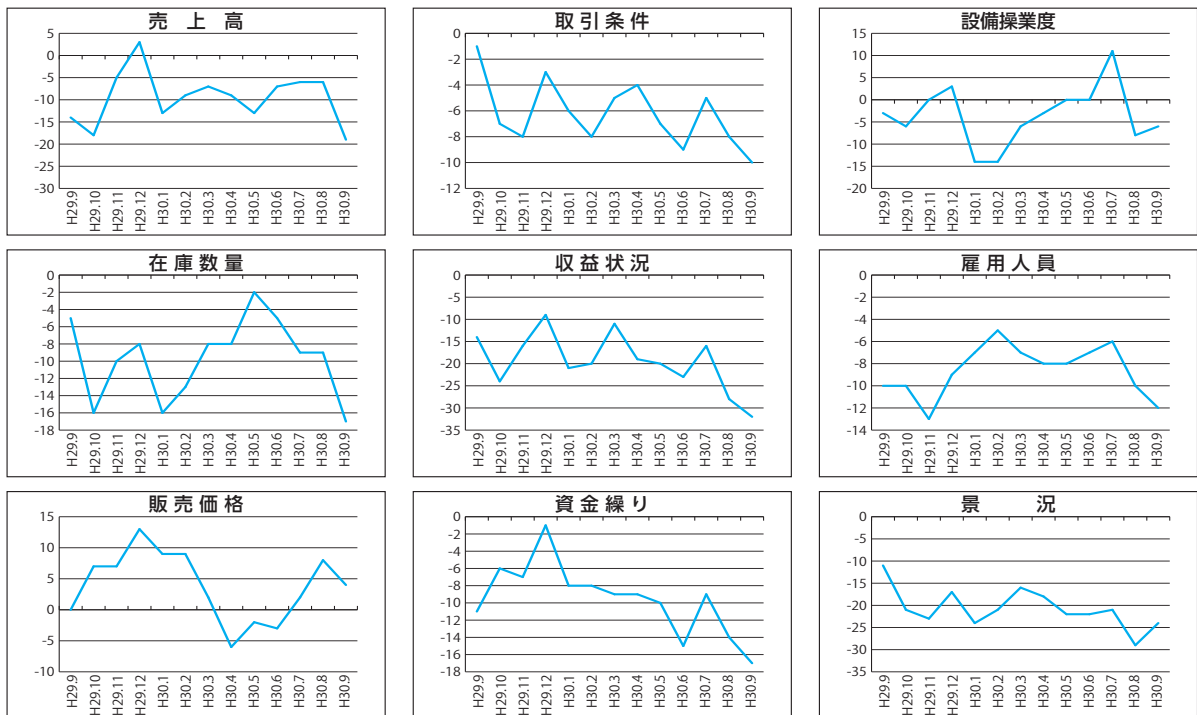
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	繊維・同製品	→	→	→	→	→	→	→	↓	→
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	印刷	↓	→	→	→	↓	→	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	→	→	→	→	↓	→	↓
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	→	→	→	→	→	→	—	→	↑
	小売業	↓	→	→	→	↓	↓	—	→	↓
	商店街	→	↓	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	↓	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	↓
D・I		-19	-17	4	-10	-32	-17	-6	-12	-24

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中2項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>